

# 週報



天一国 8 年 2020 年

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう

VISION

幸せな家庭 健康な教会  
国家と世界に貢献する統一運動

MISSION

真の父母様と一つになって  
生涯最高の実績を残す年にしよう

GOALS

1. 真の家庭運動推進と三代圏理想家庭構築
2. 神氏族メシヤ活動と天寶入籍勝利
3. 青年学生伝道推進と未来人材育成
4. 地域天一国化と救国救世基盤造成



## 世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

### 加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

## 万物は、神様が下さった 貴いプレゼントです

● 「万物の日」は、万物を解怨成就させる日です。万物を解怨成就させられる人間の資格は、墮落する前のアダムとエバの立場でなければなりません。本来、万物は、真の父母の愛を中心として主管を受けるのが天理原則です。真の父母の愛がなければ、「子女の日」もあり得ないのです。子女が真の父母の愛を通してのみ出てくるように、「万物の日」も真の父母の愛を通してのみ出てくるのです。

天一国経典「天聖經」 P1245

● 「万物の日」によって万物世界が解怨され、「子女の日」によって歴史的な解怨が韓国を中心に広がりました。また「父母の日」によって歴史的な解怨が韓国を中心として広がったので、地球上でサタンが神様の勢力を追い出すことのできない、強固な土台が築かれたのです。これにより、地上摂理の出発がしっかりと固まって、サタンを防ぐ障壁として大きくなっていかねばなりません。ここでは、天の側の力と基準が大きくなれば天の側が勝利し、天国が成し遂げられるのです。先生は、このような観点から見つめています。そのため、1963 年に「万物の日」を策定したのです。

天一国経典「天聖經」 P1245

● 私たちが「万物の日」を迎えると同時に、いつでも考えなければならないことは、私たちが「神の日」を立てることは立てましたが、いまだに万物を神様が主管できる位置に連結できていないということです。したがって今日、「真の父母」の名を経て神様の物になるときまで、復帰の段階を経ていかなければならないのです。

天一国経典「天聖經」 P1246

● 万物は、神様が私たちに下さった貴いプレゼントです。人間は誰もが、その贈り物を等しく受け取ることができなければなりません。一個人が万物を独占しようとし、一国家が科学技術や富を独占して他国を従属させることは、神様のみ意に反しています。先駆けて努力し、技術を開発するとしても、豊かになった後は、自分よりも恵まれない人に技術を教え、相手も豊かに暮らせるようにしなければなりません。これが真の経済の平準化です。

私たちが誇るべきは、高価な財布に入っている真っさらな紙幣ではありません。その紙幣を誰のために、どのように使うか悩み、正しく使うところにおいてのみ、本当の誇りが生れるのです。

「平和の母」自叙伝 P208)